

(再評価)

富士川 総合水系環境整備事業

令和3年12月9日

国土交通省関東地方整備局

目 次

1. 環境整備事業をめぐる社会情勢の変化	1
2. 環境整備事業の概要	5
3. 環境整備事業の進捗状況と見込み等	6
4. 環境整備事業の投資効果	10
5. コスト縮減等	12
6. 関連自治体等の意見	13
7. 今後の対応方針(原案)	14

1.事業を巡る社会情勢等の変化(流域の概要)

- 富士川は鋸岳(2,685m)を源流とし甲府盆地を南下、笛吹川合流後に山間溪谷部、早川合流後に富士平野を流れ駿河湾に注いでいます。日本三大急流河川の一つで、平均河床勾配は約1/240となっています。
- 釜無川は、下流部に多列砂州が発達しています。笛吹川は交互砂州が発達していますが、近年砂州上への植生侵入がみられます。富士川中流部は山地区間が多く、崖地や河畔林のある水辺が続きます。下流部は河口部が広大な川幅となり、砂礫地、海浜性砂丘、干潟や湿地等の多様な環境が見られます。

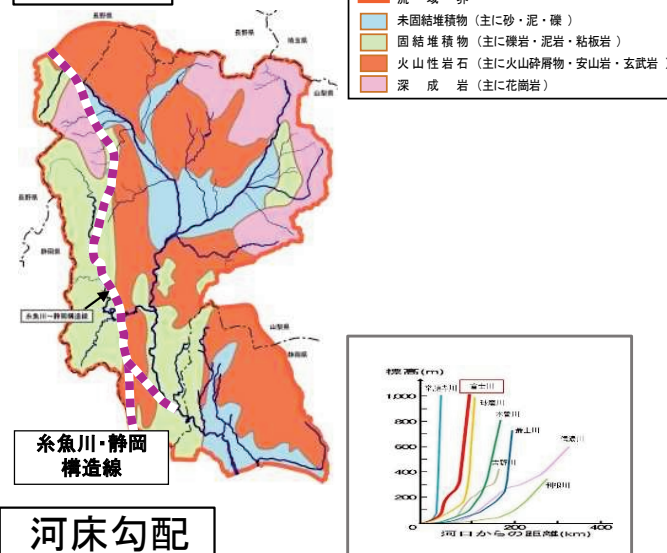
流域図



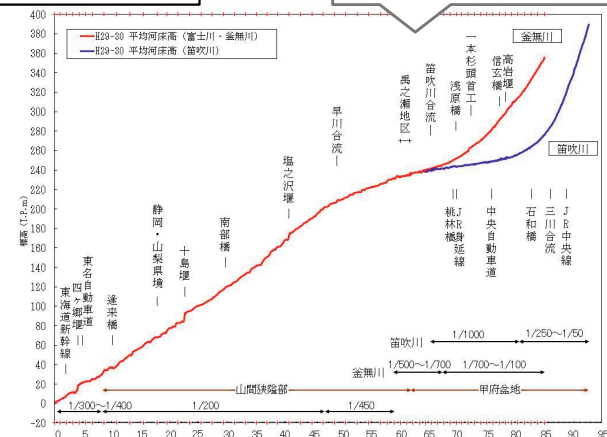
幹川流路延長	約128km
流域面積	約3,990km ²
流域内人口	112万人 (平成21年河川現況調査)
主な市町村	甲府市、甲斐市、笛吹市、 中央市、富士市、静岡市、 富士宮市 等



地質圖



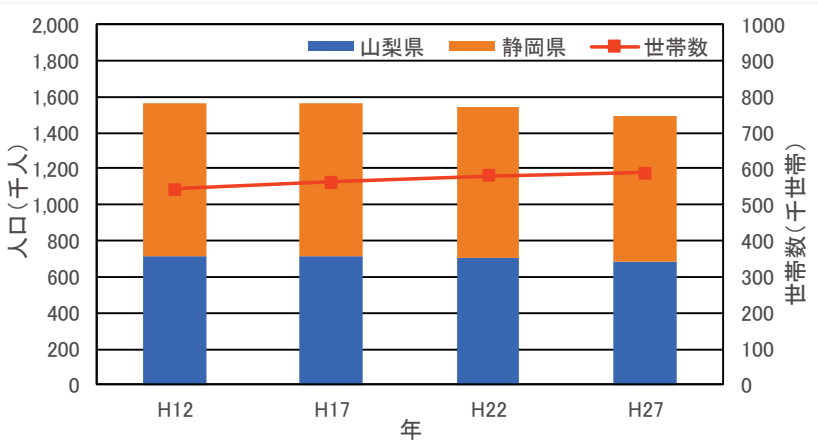
河床勾配



1.事業を巡る社会情勢等の変化(流域の概要)

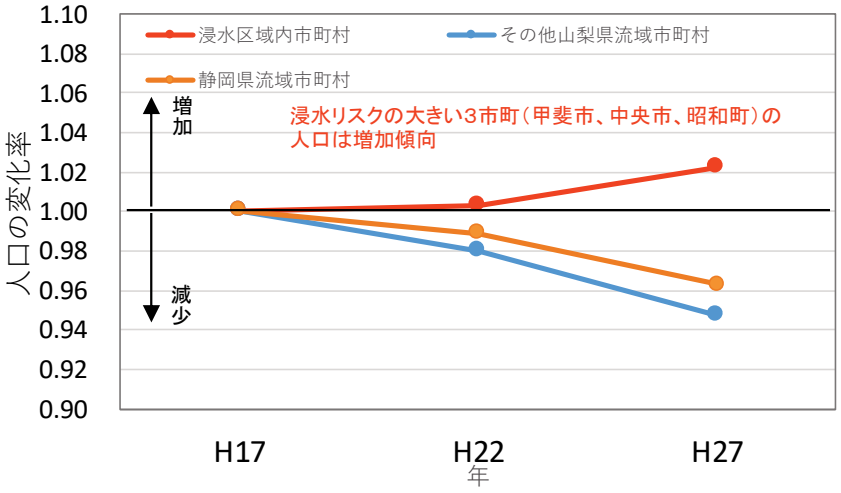
- 富士川流域関連自治体の人口は、近年減少傾向です。一方で、甲府盆地内の浸水リスクの大きい地域(甲斐市、中央市、昭和町)では、行政人口が2%程度増加しています。
- インフラストラクチャーの変化としては、平成24年に新東名高速道路が開通したほか、新東名と中央道、上信越道を結ぶ中部横断自動車道の建設が進められ、令和3年8月には新東名(新清水JCT)から中央道(双葉JCT)までの区間が開通しました。また、リニア中央新幹線の建設が進められており、流域内では山梨県駅(甲府市内)が建設予定です。

山梨県・静岡県の人口・世帯数の変化

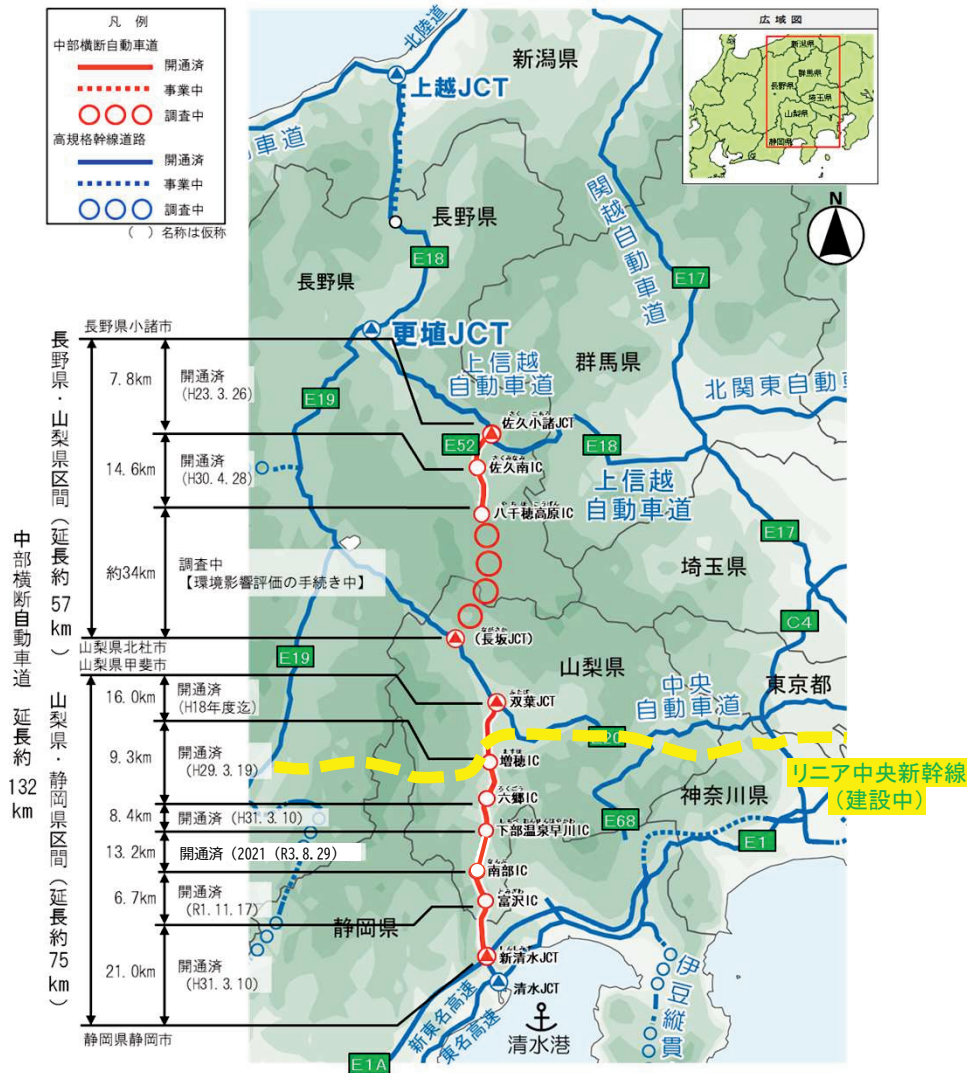


出典 富士川流域内の市町村の国勢調査結果をもとに整理

甲斐市・中央市・昭和町とその他市町村の人口推移(H17基準)



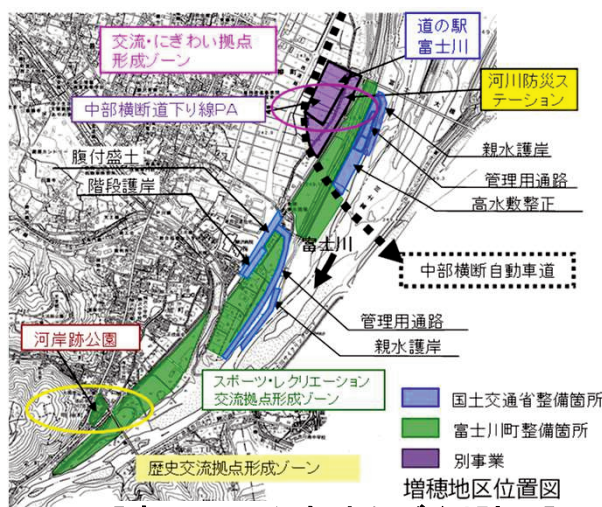
高速道などの整備状況の変化



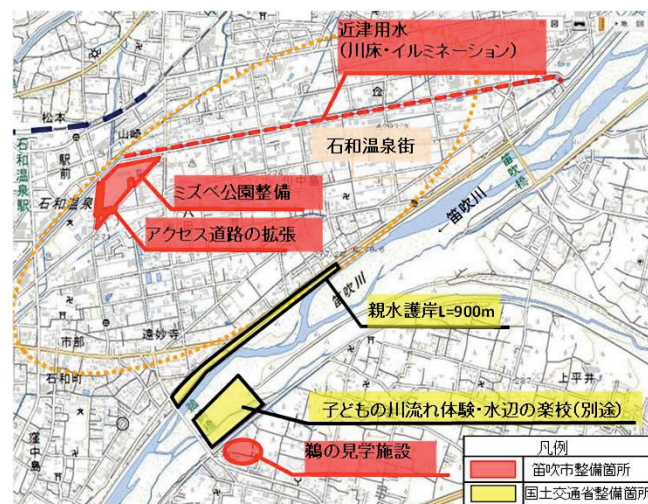
1.事業を巡る社会情勢等の変化(地域の協力体制)

- 富士川流域では、5市町村が河川空間を生かした地域の賑わい創出を目指す「かわまちづくり計画」を申請・登録しています。近年では、山梨市、市川三郷町が新たに計画を申請・変更申請を行っています。国ではこれらの自治体の計画にもとづき、ソフト施策、ハード施策の両面からまちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間の創出を支援しています。

- ❑ 笛吹市: 笛吹市かわまちづくり計画(H27.1申請)
- ❑ 富士川町: 富士川町かわまちづくり計画(H28.2変更申請)
- ❑ 富士市: 雁堤・木島地区かわまちづくり計画(H28.3申請)
- ❑ 山梨市: 山梨市かわまちづくり計画(R3.1変更申請)
- ❑ 市川三郷町: 市川三郷町かわまちづくり計画(R2.1申請)



〔富士川町かわまちづくり計画〕



〔笛吹市かわまちづくり計画〕

- 富士川の河川協力団体としては令和3年度は3団体が登録されています。これらの団体の活動に協力・支援し、河川の環境維持や、自然教育などを行っています。

- Yamanashiみずネット
- 一般社団法人 山梨県河川防災センター
- 富士川ファンクラブ

1.事業を巡る社会情勢等の変化(河川の利用状況)

- 富士川は釜無川、笛吹川沿いは公園などが整備され、スポーツや散策、イベントなど多様に利用されています。中流の山間渓谷部はラフティングやアユ釣り等水遊びで利用されています。河口部はグラウンド、公園等が整備され多く利用されています。全体として、高水敷での散策・スポーツ等の利用が多くなっています。

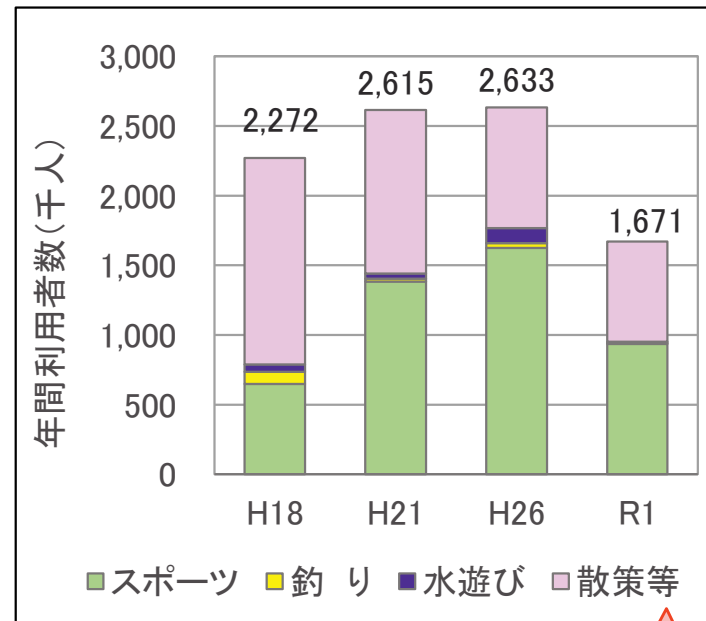
【釜無川周辺】



散策、バーベキュー等の利用(甲斐市)



スポーツ利用(富士川町)



河川空間利用実態調査(平成18年～R1年度)より

【笛吹川周辺】



散策、バーベキュー等の利用(山梨市)



イベント(花火大会)等の利用(笛吹市)

【中流部周辺】



ラフティングの利用(南部町)

【下流部付近】



サイクリング・散策、スポーツ・レクリエーションの利用(富士市)



かりがね祭り

○平成18年～平成26年の間において利用者の増加が見られる。
○令和元年の調査結果においては、利用者数に減少が見られるが台風被害等の影響も考えられる。
なお、環境整備箇所においては整備直前と比べ、整備直後は利用者数の増加が確認されている。(資料5、P46、47)

2.事業の概要

(1)事業の目的と計画の概要

【水辺整備事業の目的】

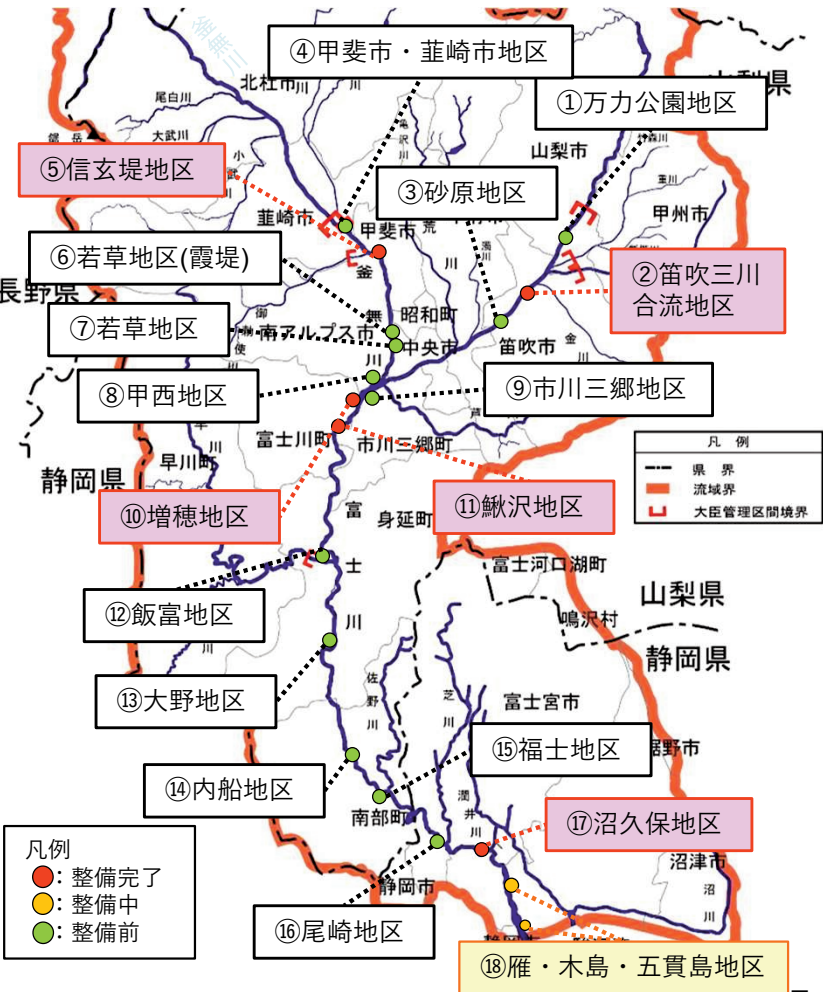
- 富士川流域は平地の割合が少ないため、河川空間は地域の貴重なオープンスペースとして重要な役割を担っています。このため、散策や環境学習の場として、誰もが安全かつ容易に利用できる良好な水辺空間の形成が求められています。
- 沿川地方公共団体や地元住民との連携のもと、地域のまちづくりと一体となった、魅力ある水辺空間の整備を行い、水辺利用の促進や賑わいの創出を図ります。

【実施事業】

再評価 評価単位	分野	河川	個別箇所名	主たる 整備の内容	単位	数量	整備 期間	
富士川 総合水系 環境整備 事業	水辺 整備	釜無川 笛吹川 富士川	①万力公園地区(※2)	階段護岸 親水護岸	m	2,725	H15 ～ H48 (R18)	
			②笛吹三川合流地区					
			③砂原地区	管理用道路 散策路	m	18,675		
			④甲斐市・韮崎市地区					
			⑤信玄堤地区					
			⑥若草地区(霞堤)	高水敷整正	m ²	330,155		
			⑦若草地区					
			⑧甲西地区					
			⑨市川三郷地区(※2)	水路	m	1,150		
			⑩増穂地区					
			⑪鰍沢地区					
			⑫飯富地区	ワンド	箇所	4		
			⑬大野地区					
			⑭内船地区					
			⑮福士地区	坂路	箇所	4		
			⑯尾崎地区					
			⑰沼久保地区					
			⑱雁・木島・五貫島地区					

※1 整備期間とは別に、各地区においてモニタリングのための期間を有する。
※2 新規事業として追加する箇所

【事業位置図】



3.事業の進捗状況と見込み等

(1)事業の進捗状況(完了箇所)

- 【水辺整備】
- ②笛吹三川合流地区では、護岸の整備を行い、⑤信玄堤地区において、散策路の整備を行いました。また、⑪鰍沢地区において、散策路や護岸の整備を行いました。
 - ⑰沼久保地区においては、階段護岸や散策路、流れの再生など、河川を活用する整備が行われました。

【事業の進捗状況】

【整備の効果：イベント利用, 環境学習の実施】

分野	河川	個別箇所名	主な整備の内容	単位	数量		整備期間
					全体計画	R2末	
水辺整備	笛吹川	②笛吹三川合流地区	階段護岸・親水護岸	m	900	900(R2完了)	H28～R2
	釜無川	⑤信玄堤地区	散策路	m	1,840	1,840(H19完了)	H15～H19
			案内板	箇所	11	11(H19完了)	
		⑪鰍沢地区	基盤整備	m2	22,590	22,590(H18完了)	H16～H18
			散策路	m	1,000	1,000(H18完了)	
			階段護岸・親水護岸	m	150	50(H18完了)	
	富士川	⑩増穂地区	基盤整備	m2	14,625	14,625(H20完了)	H15～H29
			階段護岸・親水護岸	m	945	945(H28完了)	
			散策路	m	2,000	2000(H29完了)	
			水制工	m	1	1(H21完了)	
			スロープ	箇所	2	2(H19完了)	
			盛土	m	340	340(H29完了)	
		⑰沼久保地区	基盤整備	m2	16,000	16,000(H20完了)	H19～H21
			散策路	m	1,000	1,000(H20完了)	
			階段護岸	m	20	20(H21完了)	
			案内板	箇所	2	2(H20完了)	
			水路工	m	200	200(H21完了)	



※整備期間とは別に、各地区においてモニタリングのための期間を有する。

3.事業の進捗状況と見込み等

(1)事業の進捗状況(整備中)

【水辺整備】

- ⑮雁・木島・五貫島地区において、散策路や休息場、遊び場のような多目的に利用できる広場等を整備し、今後五貫島地区富士川緑地公園の通路(坂路)の改良を行います。

【事業の進捗状況】

分野	河川	個別箇所名	整備の内容	単位	数量			整備期間
					全体計画	R2末	残	
水 辺 整 備	富士川	⑮雁・木島・五貫島地区	散策路	m	4,805	4,700	105	H22～R4
			階段護岸・親水護岸	m	40	40(H24完了)	0	
			スロープ	箇所	1	1	0	

※整備期間とは別に、各地区においてモニタリングのための期間を有する。

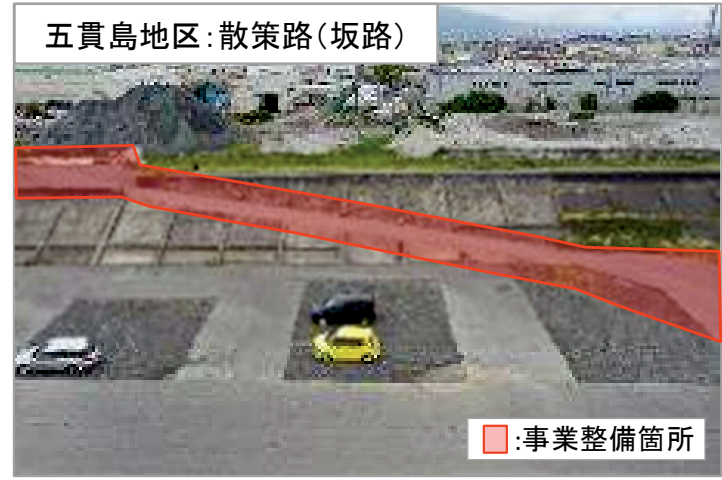
【事業の整備状況】



【整備の効果】



【整備中の箇所】



3.事業の進捗状況と見込み等

(2)事業の見込み等(新規事業箇所)

- ①万力公園地区では、既設のウォーキングコースと連携した河川管理用通路や、千鳥が生息可能な河川の整備を行い、周辺医療施設と連携した水辺の癒し空間の創出に取り組みます。
- ⑨市川三郷地区では、背後地から河川内へのアクセスを容易にする河川管理用通路(坂路)等を整備し、水辺空間の創出、地域活性化に取り組みます。

【事業の計画状況】

分野	河川	個別箇所名	主な整備の内容	単位	数量	整備期間
					全体計画	
水辺整備	笛吹川	①万力公園地区	管理用通路	m	270	R4～R8
			河道整正	箇所	1	
			(坂路)	(箇所)	(1)	
		⑨市川三郷地区	管理用通路	m	600	R4
			(坂路)	(箇所)	(3)	

※整備期間とは別に、各地区においてモニタリングのための期間を有する。

【万力公園地区水辺整備事業完成イメージ】



出典：山梨市かわまちづくり計画

【市川三郷町かわまちづくり水辺整備事業完成イメージ】



3.事業の進捗状況と見込み等

(2)事業の見込み等(残事業)

【水辺整備】

- ・ ⑮雁・木島・五貫島地区において、散策路や休息場、遊び場のような多目的に利用ができる広場等を整備し、今後五貫島地区富士川緑地公園の通路(坂路)の改良を行います。
- ・ その他事業箇所については、新規事業箇所を含め、関係自治体の利活用計画及び維持管理計画を踏まえつつ、「かわまちづくり支援制度」への登録が完了したもののから事業を実施していく予定です。

【事業の進捗状況】

分野	河川	個別箇所名	主たる 整備の内容	単位	数量			整備期間
					全体計画	R2末	残	
水辺整備	釜無川 笛吹川 富士川	①万力公園地区(※2)	階段護岸・親水護岸	m	2,725	2,055	670	H15 ～ H48 (R18)
		②笛吹三川合流地区(※3)						
		③砂原地区						
		④甲斐市・韮崎市地区	管理用道路・散策路	m	18,675	10,540	8135	
		⑤信玄堤地区						
		⑥若草地区(霞堤)						
		⑦若草地区	高水敷整正	m2	330,155	53,215	276940	
		⑧甲西地区						
		⑨市川三郷地区(※2)						
		⑩増穂地区	水路	m	1,150	200	950	
		⑪鯉沢地区						
		⑫飯富地区						
		⑬大野地区	ワンド	箇所	4	1	3	
		⑭内船地区						
		⑮富士地区						
		⑯尾崎地区	坂路	箇所	4	0	4	
		⑰沼久保地区						
		⑱雁・木島・五貫島地区						

※1 整備期間とは別に、各地区においてモニタリングのための期間を有する。

※2 新規事業として追加する箇所

※3 整備完了箇所

4.事業の投資効果

(1) 費用対効果分析(水系全体)

- 総便益(B)

・受益範囲の住民を対象としたCVMアンケートにより、支払い意思額(WTP)を把握。

・支払い意思額(WTP)に受益範囲の世帯数を乗じて年便益を求め、分析対象期間の総便益を算定。
- 総費用(C)

・事業に係わる建設費と維持管理費を計上。

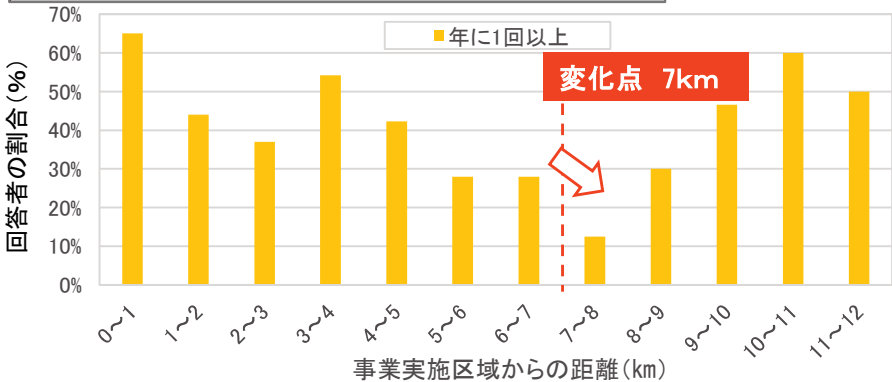
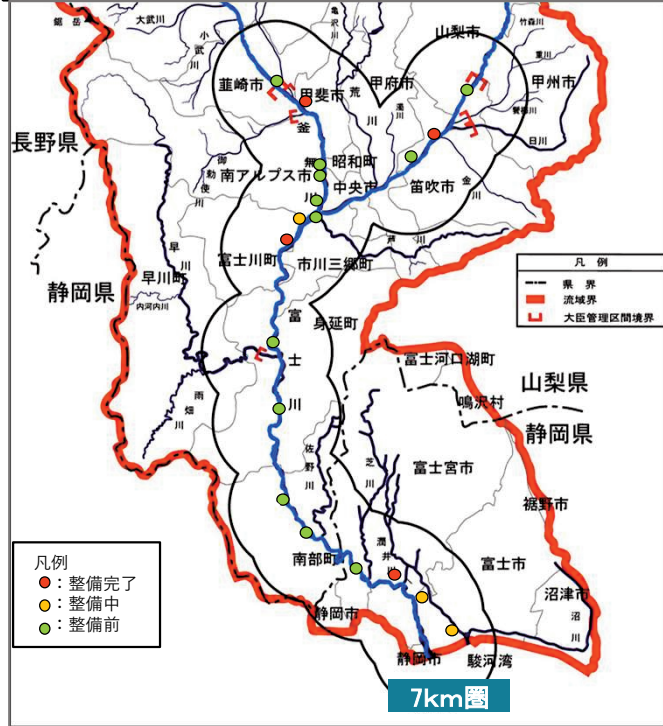
【計算条件】		[参考:前回評価(平成27年度)]	
		※平成30年度事業評価監視委員会での費用対効果は平成27年度の結果を活用	
・基準年次	: 令和3年度	・基準年次	: 平成27年度
・分析対象期間	: 整備期間+50年	・分析対象期間	: 整備期間+50年
・便益の算定方法	: CVM(仮想市場評価法)	・便益の算定方法	: CVM(仮想市場評価法)
・世帯数データ	: 平成27年国勢調査	・世帯数データ	: 平成22年国勢調査
・受益範囲の世帯数	: 345,397世帯	・受益範囲の世帯数	: 329,688世帯
・事業費	: 約 65.6億円(消費税込)	・事業費	: 約 64.0億円(消費税込)
・総便益(B)	: 約 254.9億円(約556.3億円※)(消費税抜き)	・総便益(B)	: 約224.9億円(消費税込)
・総費用(C)	: 約 71.7億円(約65.0億円※)(消費税抜き)	・総費用(C)	: 約58.3億円(約69.0億円※)(消費税込)
・費用便益比(B/C)	3.6	・費用便益比(B/C)	3.9
※基準年次における現在価値化前の金額。			

4.事業の投資効果

(2) 費用便益分析

1) 受益範囲の設定

- 予備調査結果より、来訪頻度の変化点がみられる7km圏を受益範囲として設定しました。



2) 支払意思額

項目	水辺整備
	富士川総合水系 環境整備事業
受益範囲	整備地区から7km圏
受益世帯数	345,397世帯 (H27国勢調査データ)
調査概要	調査方法
	WEBアンケート
	①回収数
	600票
	②有効 回答数 (②/①)
	467票 (77.8%)
支払意思額 (WTP) 月・世帯当たり	
260円	

- ※予備調査の概要
- 調査範囲 : 12km圏
 - 手法 : WEBアンケート
 - 回収数 : 241票
 - 有効回答数 : 175票
 - 有効回答率 : 72.6%

3) 費用便益比

項目	水辺整備
	富士川総合水系 環境整備事業
基準年	令和3年度
評価期間	整備期間+50年間
総費用 (C)	①建設費
	69.9億円
	②維持 管理費
	1.8億円
	③総費用 (①+②)
	71.7億円
総便益(B)	
254.9億円	
費用便益比 (B/C)	
3.6	

※表示桁数の関係で計算値が一致しない場合があります

5.コスト縮減等

- 地元自治体や市民との協働による「富士川流域一斉清掃」や「特定外来生物の駆除」などの取り組みによって、よりよい河川環境の維持が図られています。

【住民との協働による清掃活動】信玄堤公園



【富士川流域一斉河川清掃・外来植物オオキンケイギク駆除作業】



6.関連自治体等の意見

■ 再評価における関係県の意見は以下のとおりです。

関係県	再評価における意見
山梨県	本事業は、水辺とまちが融合した良好な空間の整備を行っており、地域活性化を図るために必要な事業です。引き続き、県や沿川自治体と十分に調整を行うとともに、コスト縮減に留意しつつ整備箇所での早期の効果発現に向けた事業の推進をお願いします。
静岡県	対応方針(原案)のとおり、富士川総合水系環境整備事業を継続することについて、異存ありません。 拠点整備により、安全かつ容易に利活用できる良好な水辺空間の形成が図られ、流域住民の散策や環境学習の場などとして活用されることで、富士川の魅力が向上し、地域の活性化につながるよう、今後も引き続き必要な予算の確保とコスト縮減の徹底に努め、事業の推進をお願いします。 また、各年度の事業実施に当たっては、引き続き本県や関係者と十分な調整をお願いします。

7.今後の対応方針(原案)

(1)事業の必要性等に関する視点

①事業を巡る社会情勢などの変化

- ・ 富士川流域は周辺には平地の割合が少ないため、地域の貴重なオープンスペースとして散策やスポーツ、環境学習の場として人々に利用されており、沿川一帯における貴重な水辺空間となっています。今後においても、誰もが安全かつ容易に利用できる良好な水辺空間の整備が求められています。
- ・ 富士川流域では、事業区域は散歩・ウォーキングや休憩などに利用されているほか、夏季に花火大会等で利用されるため、近隣の自治体から多くの人々が訪れています。

②事業の投資効果

令和3年度評価	B/C	B(億円)	C(億円)
富士川総合水系環境整備事業	3.6	254.9億円	71.7億円

(2) 事業の進捗の見込みの視点

- ・ 今後の実施の目途・進捗の見通しについては、特に大きな支障はありません。
- ・ 今後の事業実施にあたっては社会情勢等の変化に留意しつつ、地域と十分に連携しながら進めてまいります。

(3) コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- ・ 関係自治体と地元住民との協働による維持管理など、地域と連携しながら一層のコスト縮減に努めます。

(4) 対応方針(原案)

- ・ 当該事業は、誰もが安全かつ容易にふれあうことのできる水辺空間を確保する観点から、事業の必要性が高く、引き続き事業を継続することが妥当と考えます。